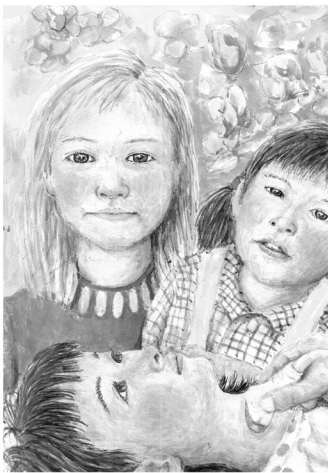




星野文昭さんの絵
「福島、今を共に生きる」

星野さんを取り戻そう！全国再審連絡会議

■発行日 毎月15日

■購読料 1部100円（送料80円）

■連絡先 〒105-0004

東京都港区新橋2-8-16 石田ビル4階

TEL 03-3591-8224

FAX 03-3591-8226

■E-mail qq8u2cd9@dream.ocn.ne.jp

■URL <http://fhoshino.u.cnet-ta.ne.jp/>

■賛同会員 1口年間3,000円

（ニュース無料配布）

郵便振替 00110-5-155521

星野再審ニュース 220号



星野文昭さんに連帯のお便りを

〒779-3133

徳島市入田町大久 200-1 星野 文昭様

9月号の紙面

全国総会、徳島刑務所デモが歴史的な成功

720人が星野さんと「集団面会」…………… 2

15年全国総会で決定した方針…………… 3

星野文昭さんのメッセージ

ますます広がり実現する絵画展…………… 4

大阪・八尾

愛媛

栃木

香川

三多摩

神奈川

奥田正昭裁判長弾劾する上告理由書提出 …… 6

地域の拠点つぶしの弾圧を粉砕！

徳島面会日記…………… 7

インフォメーション…………… 8



星野さんに届け！と声を張り上げるデモ隊（9月6日）

9・5-6

全国総会、徳島刑務所デモが歴史的大成功 720人が星野さんと「集団面会」

9月6日、全国から720人が集まり、雨の中を「星野文昭さんを返せ」と徳島刑務所に迫りました。星野さんの言う「集団面会」を実現するために、涙を流しながら行進する人が多数いました。

3台の「星野希望バス」を始め参加者の車が鮎喰川の河原に続々と集まり、青年労働者が企画した「大声大会」が行われました。「星野さ〜ん」、「絶対取り戻すぞ〜」対岸に見える刑務所に向かって声を限りに叫びます。

午後1時、「無実の星野文昭さんを返せ 9・6徳島刑務所デモ」集会が始まりました。共同代表の狩野満男さんが司会をつとめ、「あそこに見える

徳島刑務所に向かって攻め上ろう」と開会を宣言しました。

最初に星野暁子さんが発言に立ち、「文昭は今日のデモを本当に楽しみにしています。全身を耳にしてみんなが来るのを待っています。私たちの闘いで必ず文昭を取り戻しましょう」と訴えて、金曜日の面会で書き取った星野さんのメッセージを読み上げました。

徳島救う会の元木美起子代表が地元としての決意を表明し、和久田修弁護士、の再審報告の後、アメリカで政治犯救援を闘うキャロル・セリグマンさんからのメッセージが紹介されました。

共に闘う決意を、全学連の斎藤郁真委員長、動労千葉の田中康弘委員長と千葉・三里塚の岸本豊和さん、革共同の鎌田雅志さんが表明しました。

いわての岡田幸助さん、広島の宮原亮さん、大阪の森本理さんが星野さんを取り戻す決意を語った後、徳島の原祥吾さんの熱烈なカンパピールに呼応して21万2831円が集まりました。デモ指揮の奥村毅さんが行動提起を行い、デモに出発です。

星野さんに聞こえた！

2つの梯団に分かれ、「星野さんは無実、星野さんを返せ」とコールを響かせながら、徳島刑務所に向かいます。沿道に出てデモを歓迎する住民と交流しながら、デモ隊の意気は上がりました。徳島刑務所正門には星野文昭さんの写真が大きなパネルで掲げられてデモ隊を出迎えました。その前で暁子さんが「文昭、聞こえますか。みんなを迎えにきましたよ」とマイクで語りかけ、「ソリダリティ」を全員で歌いながら刑務所の裏側に進みました。ある人は「必死に涙をこらえていたけれど、暁子さんが『文昭』と言った瞬間にぼつとあふれてしまった」と語っていました。

堀越しに建物が見える場所に差しかかると、「集団面会」が実感となりました。そこで、平良修さん、辻川慎一さん、みやぎの青柳葉子さん、「街」の2人らがマイクを使って「星野さんがこの中にいることを絶対に許さない。必ず取り戻します」と直接呼びかけました。この声が届いたことが、翌日の

面会で分かると歓喜の環が全国に広がりました。

9・6徳島刑務所デモは参加者全員が感動に包まれ、「この闘いで絶対に星野さんを取り戻す」と決意する、まさに歴史的な闘いになりました。

7日には22名が参加して、面会・差し入れ行動が行われました。1月に刑務所が面会を拒否した修三さんのお連れ合いのゆかりさんが、修三さん、暁子さんと一緒に面会しました。「デモは、はつきり聞こえた。『街』の人も分かった」と星野さんが語ったことが伝えられ、喜びが爆発しました。

3日間の闘いを通して星野闘争の物凄い飛躍を実現し、星野文昭さんを実際に取り戻す闘いが始まりました。11・1労働者集会から、11・29星野全国集会に向かって突き進む。



河川敷での集会で訴える暁子さん



2015年全国総会で決定した方針

9月5日、徳島市で開いた2015年全国総会には全国から180人が集まり、熱い議論のあふれるかつてない総会となりました。基調報告をもとに討議し、以下のことを決めました。

再審闘争について。

①三宅洋一鑑定意見書を武器に三者協議をかちとり、裁判官、検察官と徹底的に闘う。

②11人の民間目撃者の供述調書を開示させる。

③それを

突破口に、

検察官が

隠し持つ

すべての

証拠を開

示させる。

④「供述

調書」の

信用性を

さらに決

定的に崩

していく。

⑤十字路

から見た

光問題な

ど、星野さん無実を積極的に証明していく。

大衆運動を発展させるための方針は次の通りです。

1. 戦争法案粉碎・安倍政権打倒の1000万人の決起と結びつき、全証拠開示・再審開始100万人署名に総決起しよう。

2. 絵画展・集会をさらに開き全国に星野救援会をつくらう

3. 国際連帯の発展をかちとろう

4. 『星野再審ニュース』を新聞形式にして大飛躍させよう

5. 財政の強化をかちとろう

6. 奥深山幸男さんの免訴をかちとり

生じる権利を守ろう

7. 治安弾圧との闘いの先頭に立とう

星野さんの健康と権利を守る闘いはいつさいの運動の土台をなす闘いです。友人面会をかちとり、手紙墨塗りをやめさせよう。

最後に、狩野満男さん、戸村裕美さん、平良修さん、星野暁子さんの4人の方に次の1年間も共同代表をお願いすることを決定しました。

星野文昭さんのメッセージ（抜粋）

全ての労働者人民の怒りと闘いを解き放とう

星野、国鉄一体の闘いで
全人民の解放を



今、安倍による、1%の金儲けのために労働者人民の命も生活も奪ってしまう戦争と総非正規化・新自由主義に対して、誰もが決然と怒り、目覚め、立ち上がりつつあります。

戦争法案によって、「自衛・存立」の名で、他国の、他国での、他国との戦争に参戦することにより、自衛戦争はもとより侵略戦争・世界戦争Ⅱ核戦争に油を注ぎ、同時に、団結破壊・総非正規職化の新自由主義にも油を注ぎ、命より金儲け、1%のために命も全ても奪う攻撃を全面化する、それも「戦争は絶対ない」「生活はよくなる」という誰も信じないウソを言っているのが、安倍政治の正体です。そのことに誰もが怒り、目覚め、決断と立ち上がりつつあります。

星野殴打を否定する三宅鑑定

「二郎丸写真」の三宅鑑定によって、

現場直後の私が持っていた棒に巻かれた白い紙にある黒い溝が規則的なものであることが明らかにされ、殴打による損傷は否定されました。第二次再審請求棄却を決定した東京高裁の「損傷らしき」ものがあるということが、否定されています。そしてそのことによって、再び服装の色が焦点になっていきます。

闘いの只中で相まみえよう

戦争—沖縄の戦争の島化に反対し闘ったことを理由に、権力が無実を百も承知で無期を強い、40年投獄していることに対して、自らと家族、全ての労働者人民を信じ、その愛、絆、団結を拡大発展させ、日々、勝利していく闘いは、全国での絵画展・集会、街宣、オルグ、署名などで感動的に闘われているように、今、怒り、決起する全ての労働者人民の怒りと闘いを解き放ち、勝利をかちとっていくものになっていきます。

そのように星野闘争の大きな飛躍を闘い、100万人全証拠開示署名をかちとり、闘いの只中で相まみえましょう。

大阪

地域の団結でかちとった

大阪 泉 浩史



7月31日、8月2日、近鉄八尾駅近くのプリズムホールにて、星野文昭絵画展を開催しました。

昨年の西郡住宅強制執行と重なった八尾北絵画展・暁子さんとの交流会とは違い、広く星野

さんの闘いを知ってもらうため、1万枚のビラを西郡周辺、そして八尾駅前での街宣を行いました。

当日午前の会場設営時より、ビラを見てきた人、西郡周辺からヘルパーに車いすを押してもらってやってきた障害者の方、星野さんの闘いを説明したら驚き、感動し、カンパをした人、アンケートには、「本当に長年にわたり大変な思いをされて、感心いたしました。すごい精神力だと思います」、「花の絵には、花の心が描かれているように感じられた。どの絵にも人間的なものが感じられる。絵が真実を語っているのだと思う」、「癒されます」、「40年も獄中にいるのか!」や、星野さんの体を気遣うコメントが寄せられました。

来場者数150人以上、署名40筆、アンケート29枚、カンパ1万2500円集

まりました。全国水平同盟大会などとなり、とても忙しい中、八尾北医療センター労働組合を中心とした実行委員会の構成団体を中心に、ビラまき、街宣をやり抜きました。絵画展が成功したのは、改めて団結の力だと思いました。

愛媛

藤田弁護士迎えて集会開催

愛媛 平野 明人

8月20日から22日、松山で会結成以来はじめて、絵画展を開催しました。3日間で94人が来場し、署名60筆、アンケート21枚、カンパ21114円でした。

会場は公園の中ですが周辺に美術館もあり、絵や写真に関心のある人の飛び込みも結構ありました。「明るい絵が多い」「絵と行動の落差に感銘を受けました」「ぜひ生で美しい自然を見て絵にしたい」と強く思います」といった感想を寄せてくださいました。

職場や組合での宣伝、原発再稼働反対の金曜行動や戦争法反対集会で受け取ったビラで参加した人たちは、40年の闘いへの感動と今の戦争情勢の下で自分と星野さんを重ねています。「とても他人事と思えない」「獄中にありながら信念を曲げずに世の中を変えていく闘争をしている人がいるとは大感動、自分も声を上げなくては」「40年牢屋にいて、あれだけ明るい色で描けるのか、星野さんが望んでいる未来の色かな」。星野奪還闘争は戦争法と原発再稼働阻止・安倍打倒のたたかいそのものだと思えました。

22日夕方には再

審弁護団の藤田城治弁護士を迎えて集会を開催し、ビデオ国賠裁判と証拠開示についてわかりやすく講演していただきました。

「新旧証拠を総合的に判断して再審決定」(白鳥決

定)をなぎものにする証拠抹殺を絶対に許さず、全証拠の開示―再審開始へ全力で闘いましょう。また接見時の文昭さんの姿や会話の様子を聞き、早く文昭さんと会いたい思いがこみあげます。9月6日の星野「集団面会」デモに愛媛から全力で参加します。

栃木

連日ラジオ放送で紹介

栃木 小林 寛

地域の仲間が中心になって、8月20日、23日の4日間、宇都宮市の南図書館で絵画展を開催。来場者数220名、カンパ額14,370円、アンケート回収は33通にのぼり、予測の数を大幅に上回る大成功をかちとりました。

この大成功をかちとった要因は何か。実行委員会を広く呼びかけ、その基で最低5回を上回る会議で徹底的に議論し、行動予定を決定し、それを実行したことです。絵画展会場の開催場所も4、5ヶ所の候補会場の中から、「南図書館」を



選びました。絵画の選定も皆で頭を悩ませ19点を飾ることに決めました。記者会見、雀宮駅頭でのビラ撒き、会場周辺地区でのビラ撒き、労働組合への働きかけなど、やれることは徹底してやりました。これまでの皆の人生でも群を抜いた闘いをやり抜きました。

この皆の熱い思いと、星野文昭さんの40年に及ぶ不屈の闘いが、ある放送局の労働者の魂を揺さぶり、絵画展の紹介を数日にわたって、日に何度も放送してくれました。絵画展の案内、記者会見、来場者による絵画の感想等が紹介されました。ラジオを聞いてという来場者が何人もいました。この放送局の労働者は、かつて21年前に働いていた新聞社で不当解雇撤回闘争を闘い、動労千葉を支援する会とも出会いがあったことが、絵画展初日の日に明らかとなり、感動的な再会の場となりました。

アンケートは、我々に元気を与えられる贈り物でした。星野さんの絵が素晴らしい。優しさがにじみ出ている。配置が良かった。獄中40年間、こんな人がいたのか。驚いた。署名を広げたい、数人。



星野絵画展の成功は栃木にとって「全証拠開示・再審開始、100万人の署名へ」の運動の大きな出発点を切り開きました。

香川

国会情勢とひとつの絵画展

香川 片山 元久

8月22日、23日の2日間、香川県高松市の「まなびCAN」3F市民ギャラリーで星野絵画展を行いました。香川でも星野闘争を本格的に作り出そうと皆団結して、星野さんを1日でも早く解放するという目標に向け、綿密な役割分担と大胆な取り組みをしました。特にピラはプロの印刷所に発注し、上質紙（1枚10円）を千枚作成しました。事前に教組関係を中心に、各職場や街頭での配付もスムーズにできました。

絵画展当日には徳島の仲間の協力を得て、予想以上に盛り上がる事ができました。更に、初日の開催直後に教組の仲間からの差入れで、鉢植えの花とお菓子を頂きました。2日間の来場者は約100人、署名数39筆、カンパ2万5千円、『愛と革命』は4冊の販売でした。



また、感想もたくさん寄せられ、どれも今の国会情勢に切り結ぶ内容でした。「とてもやさしい、心が洗われるような絵です。あな

たが闘った沖縄の本当の返還、なかなか実現しません。それどころか辺野古にすごい米軍基地が作られようとしています。驚くほどの量の土石が遠い瀬戸内海の小豆島の山を削って運び出されようとしています。私達は一粒の土砂も持ち出されないように頑張ります。強い意志で闘っておられる星野さんを見習いたいです。」「星野さんの優しい絵に感動しました。国家権力が罪なき人を獄中に40年間留めることは許されません。全ての証拠を出させ、無実であることが1日も早く分かることを望みます。」「絵が好きで訪れました。パレスチナのお父さんのあたたかさ、力強さに涙が出ました。星野さんから何とかして欲しいという声が聞こえるような作品でした。早く実現してほしいです。」

三多摩

「星野と広島」をテーマに

三多摩 末木 あさ子

三多摩・星野文昭さんを救う会は、八王子市北野市民センターで8月21日から23日の3日間、星野文昭絵画展を開催しました。多摩連帯ユニオン、三多摩労組交流センターと昨年の絵画展に来場された方で実行委員会を結成しました。八王子平和・原爆資料館の理事の方の参加を得て、資料の一部を展示し併せて、記念講演「被爆の実相を語る」を3



回、うち1回は講師を囲んでの懇談と実り多い内容でした。会場づくりは絵画と原爆資料を程よく展示し、「星野」と「広島」がつながりました。

3日間の来場

者は141名、殆どの方々は「沖縄闘争で獄中40年 無実の星野さん」を初めて知ったということでした。北野駅、八王子駅、会場前でのチラシ配り、八王子市内の市民センターへの置きチラシによる来場でした。アンケートでは、「星野さんの絵は明るくて、力強い方がいいです。戦争精神を尊敬しています」、「星野さんの絵の柔らかさ、極彩色を抑えた色合い、あの獄中でよくぞまあ、柔らかいそして強い心情を失わないということに驚いています」、「平和を考えるきっかけになりました。星野さんのような方がいらつしやるということを知ったことが勉強になりました」、「絵のうまさもさることながら40年も闘う星野さんに深い感銘を受けました。決して簡単に出来ることではありません。無実が決定することを願っています」。

アンケート・来場者との対話から見えてきたことは絵画展という場が、星野さんを70歳までに奪還するため、100万人署名を実現するために、偉大な力を持ってしていると改めて思いました。

神奈川

星野闘争の奥深さ実感

神奈川 竹内 悟

「星野絵画展 in 川崎」は8月21日から23日までの3日間開催しました。国会で2000枚のピラをまき、地域に1500枚入れ、朝昼の職場ピラなど合計8000枚のピラをまき、当日も会場での宣伝と署名取りを行いました。3日間の参加者合計は194人、署名136筆、アンケート回答57通、カンパ28785円でした。

特徴は、①国会でピラを受け取って参加した人が4人。妹さんが国会で受け取ってきたピラを見て千葉県松戸市から来られた沖縄出身の方。②この間のJR職場へのピラ入れで来てくれたJR労働者や、職場で恐る恐るピラを渡したら同僚を誘ってきてくれたところ。③会場近くで行われた自由法曹団主催の戦争法案反対集会の参加者に署名を訴えたら、ひとりで30分間に15筆の書名を頂く。

星野さんを取り戻す闘いは、地域の拠点づくりや戦争反対、反原発の闘いにも

のすごい力を発揮することを感じました。アンケートの分析はこれからですが、「星野闘争」が労働者階級に訴える奥深い力を感じました。



奥田正昭裁判長弾劾する上告理由書提出

5月13日、東京高裁第9民事部奥田正昭裁判長は、ビデオ国賠控訴審判決で、星野文昭さんの証拠へのアクセス権を認めた1審判決を覆す、不当判決を下しました。弁護団は、直ちに5月27日、上告し、7月31日上告理由書を最高裁に提出しました。上告審で奥田正昭裁判長の不当判決と、そのためのデタラメな論理を徹底的に弾劾し、粉砕しましょう。

驚くべき理屈で不当判決

奥田裁判長は、証拠の保管担当者である裁判所職員または公安総務課長が、ビデオテープが重要な証拠であることを知り、あるいはこれを予見出来た場合には、その限りで、星野さんにはこれを利用する権利がある。しかし、そのことを知らなかったのだから、星野さんにその権利はない。「紛失」した裁判所や警視庁にも責任は発生しない、と言うのです。

証拠を見ることは当然の権利

でつち上げられ、獄中41年を強いられている星野さんには、無実を晴らし、自由を取り戻すために、無条件に全て

の証拠を見る権利があります。

その上で、証拠の保管担当者には、一切の証拠を厳重に保管する義務があります。何故なら、かつては重要とは思わなかった証拠が後々決定的な証拠となることは、決して珍しいことではないからです。

また、星野さんの証拠に対する権利の有無を加害者である裁判所職員・警視庁公安総務課長の、証拠の重要性判断に任せていることも、不当極まりません。裁判の内容に関与しない、単なる保管担当者に証拠の重要性の判断を委ねるなど、不当判決を導くためには何でもやる奥田裁判長は絶対に許せません。

戦時司法への転換

証拠の保管担当者が、その証拠が重要だと思わなかったと言い張れば、「紛失」したとしても責任は問わないなど、警視庁公安部や検察官に、「証拠隠滅」をそのかすものです。

奥田判決は、星野さんの裁判を越えて、刑事司法のあり方を超反動的に覆すものです。戦時司法への転換そのものです。徹底的に粉砕しましょう。

地域の闘う拠点つぶしの弾圧を粉砕！

8月15日、障害者支援事業を練馬区で23年にもわたって闘い続けて来た「オープンスペース街（まち）」に対するでつち上げ弾圧を粉砕して、2人の仲間の釈放を勝ち取りました。安倍政権の戦争法案攻撃と一体の闘う拠点つぶし攻撃を仲間との団結の力で打ち破った大勝利です。

「街」は地域に根ざした障害者解放闘争、反戦闘争を最先頭で闘ってきました。星野闘争も共に闘ってきました。その地域の拠点を権力はありもしない「詐欺」容疑をでつちあげたのです。病気を抱えている2人の仲間をいきなり逮捕し、連日連夜、1日8時間も取調室に閉じ込めて、「作業所で反戦運動をしていることが気に入らない」「作業所をしていることが体が詐欺だ」と政治弾圧の意図をむき出しにして取調べとは名ばかりの転向を迫ってきました。

2人の仲間は、この卑劣な弾圧に怒りを燃やし、「権力とは一切、口をきかない」と完全黙秘・非転向の闘いをやりぬきました。この闘いに権力は大打撃を受けました。さらに、外からは仲間が勾留されている警察署に向かっ

て激励行動をやり2人を勇気づけました。また、全国全世界からは励ましのメッセージが2人に届きました。地域の住民は「街」を守る闘いに決起し、250箇所の作業所を回つての訴えでは、作業所で働く皆さんの共感を得ました。地裁前では連日のビラまき決起、検察庁・裁判所を包囲する100人のデモをやり抜きました。弁護士さんが連日連夜、接見に駆けつけ、2人を激励続けました。これらの闘いの全てに全力決起した結果、権力にはグーの音も言わず、2人の釈放を勝ち取りました。文字通り力でもぎ取った勝利です。



釈放され、元気な2人と暁子さん

の力で9月の安倍国会、戦争法案絶対阻止に向けてがんばりましょう。

まるで国会前にいるかのように安倍批判

星野 暁子

8月17日 雨。「オープンスペース街の二人解放されたよ」この日の面会は、うれしい報告からはじまった。詐欺容疑で逮捕された「街」の職員が不起訴で釈放されたと連絡を受け、絵画展に向けた「労組まわり」を中断して、13日「街」にかけつけ、解放された二人と会って、抱き合って喜んだことを伝えた。不当な弾圧に対する地域・他の作業所等に広がった団結の力だ。二人とも「完全黙秘・非転向の力で勝利できた」と総括した。

赤羽則子さんは「これで一步星野さんに近づけた」水戸由紀子さんも「星野さんがいるから闘える。その意味がわかった」と言っていたと文昭に話した。文昭は「よかったね」と心から喜んでくれた。そしてまるで国会前に

もいるかのように、安倍批判を熱をこめて語った。

「安倍は追い詰められている。平気で嘘を言うペテン師だ。安保法案は積極的に日本が戦争に加わる法案。核兵器まで扱っていいことになっているのに、安倍は『これによって戦争に巻き込まれることは絶対無い』と言っている。嘘によってペテンをかける。そうするしかなくなっている。みんなそれに気づいて具体的に動き出している。この流れをトコトン推し進めていく。動労千葉をはじめとする闘い、戦争を知っている60代、70代、80代の闘い。それに励まされて、青年、学生、女性が生立ち上がっている。これらの闘いと星野はひとつだ」。



星野暁子さん

18日 この日は体調のことも話した。みんながステロイド剤の副作用を心配していると言うと、文昭は『この程度の量なら心配ない』と医者は言っている。ただ糖尿病の原因になったりするから、徐々に減らしていくということとでいいと思っているよ』と言った。「太陽にあたらぬのが引き金になって、悪化してきた。30年ぐらいの間で

今が一番いい状態だ。身体が元気なので、掃除も毎日できるようになっている」。

新作の絵を見て語り合う

19日 宅下げてくれた絵『福島、今を共に生きる』を見ながらの面会だ。

「デイズジャパンに掲載された写真を見て描いたんだ。まわりで見ている子どもは、暁子が差し入れてくれた『世界の子どもたち』の写真から採った。あと1時間ぐらいは手をかけたかった」という文昭に、「子どもたちの表情がいいね」と私は言った。

全国で50カ所を越えて開かれている星野の絵画展の話になった。「関西の吾郷さんから報告が届いている。一部の人間が中心であとは応援に入るということではなく、みんなが文昭になり暁子になるいうことで対応したとあつたよ」「星野を自分のものにするというところが、できるようになっているね。星野の闘いを自分の闘いに位置づけて語る人、増えている。そういう人が星野の闘いを担っているよ」と私は言った。

「ここを出てからも絵を描くつもり？」なにげなく聞いてみた。「状況によるよ」。文昭はしばらく考えて「たぶん描くと思う」と言った。「絵画展、自分もそこに居れたらと思うけど、出

てからも絵画展やつてもいいんだ」

20日 暑さはどうか聞いてみた。「熱帯夜が続いた時は、こたえたよ」と文昭。全国から申し入れ書を送ったことを伝えた。「和歌山で1人亡くなり、2人重症だ。網戸をつけて上窓を開けられるようにすること、いいかげんやつてほしいよ。9月10日、監査官への申し立てがあるから言うつもりでいるよ」。「お盆休みは、ずいぶん朝のうち学習して、日中は絵を描いたり、アピールを書いたりしていたよ。みんなに話したら、みんなびつくりしていたよ。何もできないぐらいの暑さだったんだ。」と言った。

韓国の民衆画家ホンソングムについても話をした。

「広島。どうだったの？」と文昭。「手紙に書いたとおりだけど、星野としての発言をしたよ。デモに象徴されるけど、安倍に対する怒りと闘う私たちへの共感、すごかったよ」と私。

21日「我々だけではなく、みんなに同じような攻撃がかかっている。いったん戦争がはじまったら歯止めがきかない。愛、きづな、団結を力にして、みんながもっている思い、受け止めながらそれを解き放っていくことが大事だ」と文昭は言って、8月の面会を終えた。

星野文昭さんの歩みと裁判・再審

1946. 4. 27 札幌市に生まれる
 1962. 4 道立月寒高校入学、翌年、生徒会長をつとめる
 1966. 4 高崎経済大学入学、不正入試阻止闘争に参加
 (記録映画「庄殺の森」に登場)
 1969 同大学再建自治会執行委員会副委員長就任
 1971 春 成田国際空港反対闘争支援のため千葉県三里塚
 に常駐 7月、9月の闘争で指名手配を受ける
 1971. 11. 14 沖縄返還協定批准阻止闘争(渋谷闘争)に参加
 1名の機動隊員がデモ隊との衝突で火傷死(渋谷事件)
 1972. 2. 21 渋谷事件で殺人罪指名手配を受ける
 1975. 8. 6 不当逮捕
 1979. 2. 13 死刑求刑、死刑阻止12万筆署名集まる
 8. 21 一審判決、懲役20年
 12. 2 「星野・奥深山・荒川三君を救う会」結成
 1983. 7. 13 二審判決・無期懲役
 1986. 9. 17 暁子さんと獄中結婚
 1987. 7. 17 最高裁上告棄却・無期懲役確定
 10. 30 徳島刑務所移監
 1988. 杉並と徳島で「救う会」発足
 (以降、全国で27の救援会が結成されている)
 1990. 11. 27 父、三郎さん逝去
 1991. 5. 15 再審弁護団結成
 1996. 1. 28 「星野さんをとり戻そう! 全国再審連絡会議」発足
 4. 17 再審請求書提出
 8 「ゴキブリを踏んだ足を洗った」として20日間の懲罰
 2000. 2. 22 再審請求棄却決定
 2. 24 異議申立
 2004. 1. 19 異議申立棄却
 1. 23 最高裁に特別抗告
 2006. 6 友人面会実現(以降、94人が面会)
 2007. 6. 8 母、美智恵さん逝去
 2008. 7. 14 最高裁、特別抗告棄却決定
 2009. 11. 27 第2次再審請求書提出
 2010. 3. 24 東京高裁に対して証拠開示請求
 3~4 星野さんに2度の懲罰(1週間の閉居罰と戒告)
 2011. 4. 4 ビデオ国賠訴訟提訴
 11. 14 面会・手紙国賠訴訟提訴
 2012. 2. 5 徳島刑務所包囲デモを600名で闘う
 3. 30 東京高裁第11刑事部(若原正樹裁判長)が再審棄却決定
 4. 3 東京高裁に異議申立
 5 全証拠開示大運動開始
 12. 4 証拠開示請求書提出
 2013. 5. 17 証拠開示を求める弁護団意見書提出
 9. 8 9・8徳島刑務所デモ
 2014. 7. 18 面会・手紙国賠判決
 9. 9 ビデオ国賠勝利判決
 2015. 3. 13 弁護団「意見書」提出
 7. 21 署名提出
 9. 5 2015年全国総会を180名で勝ちとる
 9. 6 9・6徳島刑務所デモを720名で闘う

全証拠開示・第2次再審署名 66,242 筆(8月21日現在)

インフォメーション

- 横浜絵画展
 日時 9月21日(月)~24日(木)
 場所 横浜クーニーズ★ショップ(京急上大岡駅徒歩5分)
 共催 神奈川・星野文昭さんを取り戻す会
 ■ さようなら原発 さようなら戦争全国集会 in 代々木
 日時 9月23日(水)12時~
 場所 代々木公園(東京)
 主催 さようなら原発1000万人アクション
 ■ 高知絵画展
 日時 9月26日(土)~27日(日)
 場所 こうち男女共同参画センター1F展示コーナー
 (土佐電・旭町3丁目電停北側)
 主催 高知・星野さんを救う会
 ■ 大阪泉佐野絵画展
 日時 9月26日(土)~27日(日)
 場所 泉佐野・生涯学習センター1階多目的室
 主催 星野文昭絵画展実行委員会
 ■ 10・11 三里塚全国集会
 日時 10月11日(日)12時
 場所 成田市東峰 反対同盟員所有畑
 主催 三里塚芝山連合空港反対同盟
 ■ 群馬絵画展
 日時 10月16日(金)~20日(火)
 場所 高崎市シティギャラリー
 主催 星野文昭絵画展実行委員会
 ■ 山形絵画展
 日時 10月17日(土)~18日(日)
 場所 山形市中央公民館(アズ七日町)5階
 主催 沖縄と連帯し星野文昭さんを救う会・山形
 ■ 11・1 全国労働者総決起集会
 日時 11月1日(日)12時
 場所 東京・日比谷野外音楽堂
 呼びかけ 全日本建設運輸連帯労働組合関西地区生コン支部
 全国金属機械労働組合港合同
 国鉄千葉動力車労働組合
 国鉄分割・民営化に反対し、1047名解雇撤回闘争
 を支援する全国運動

国賠裁判

- 面会・手紙国賠控訴審判決公判
 日時 9月16日(水)13時15分
 場所 東京高裁 809号法廷

● 財政報告	2015/8 単位円
(1) 収入	388,446
①賛同金	27,000
②基金	1,000
③カンパ	254,561
④頒布物売り上げ	105,534
⑤繰越金	351
(2) 支出	388,034
①獄中支援、処遇関係費	45,000
②救援運動経費	343,034
通信費	38,671
発送費	102,099
運営費	85,320
頒布物制作費	62,648
コピー	13,591
印刷代	14,400
消耗品費	21,337
備品	4,968
(3) 繰越金	351
● 第4期再審カンパ会計	2015/8
(1) 8月カンパ	169,510
(2) 8月支出	45,726
(3) 前月繰越金	-34,897
	(累計 1,752,592)

第5期再審250万円カンパのお願い

▲9月5日の徳島総会で、今期再審250万円カンパが承認されました。ありがとうございました。
 ▲各地での絵画展の成功に見られる運動の飛躍的な発展と再審の闘いの前進、他方での安倍政権の戦争法案攻撃への人民の歴史を画する決起の開始。その上で、9・6徳島刑務所デモの力強く感動的な大成功しました。

▲星野さんを取り戻す情勢が煮詰まってきました。再審領域の闘いも飛躍的な発展を勝ち取っていく決意です。今期も再審カンパを宜しくお願い致します。

カンパ送金先

郵便振替口座 00110-5-155521
 〒105-0004 東京都港区新橋2-8-16 石田ビル4階
 星野さんをとり戻そう! 全国再審連絡会議
 TEL 03-3591-8224 FAX 03-3591-8226